



1906年製 フォード モデルF ツーリング



製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	1,200
総生産量	1,200 (確認)
馬力	12
重量	1,400ポンド/ 635キログラム
当時売価	\$1,200 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

カウルに付けられたオイルランプ

ステアリングコラムに取り付けられたクラクション

フォード初期の車の大半に比べてかなり大きく、より高級

「フラット」エンジンを搭載する最後のフォード車

1906年、ジョン・グレイの死後、彼に代わってヘンリー・フォードがフォード・モーター・カンパニーの社長となった。自動車市場でフォード社が占める割合は26.3%に上昇し、事業は急成長していた。「C」と同様、このモデルには二人乗りのラナバウトと、ツードアで5人乗りのツーリングカーの2種類があった(ここに掲載)。モデルAまたはモデルCよりも大きく、高級な車であった。また、これが2気筒フラットエンジンを搭載した最後の年であった。またこのモデルも、改良されたエンジンは前方座席下に取り付けられ、ガソリンタンクはボンネットの下に配置された。屋根部分はいくつかのタイプがあった。カウルに付けられたオイルランプとステアリングコラムに取り付けられたクラクションを、フォードが初めて提供した車である。

ラリー・D・ポーター収蔵品

この車は、ラリー・D・ポーター収蔵品からフォード・ピケット・アベニュー工場に貸し出された数多くの「アルファベット名の車」のうちの一台中の一台である。そのコレクションは、フォード・モーター・カンパニーが1903年にマック・アベニューで製造した車、そして1904年から1910年にかけてフォード・ピケット・アベニューの組み立て工場に製造した車をすべて揃えている。ピケット工場は、この収蔵車の展示を可能にしてくれたラリー・D・ポーター収蔵品に対し、非常に感謝している。